

# Kaiserswerth 学園の歴史的意義と子どもの健康

○大 森 弘 子<sup>1)</sup>      倉 鋪 桂 子<sup>2)</sup>

## I. 問題と目的

我が国において、最初の具体的な保育の手引書は、1948年の「保育要領」（文科省、1948）であり、その中で「健康」は保育内容の12項目（「見学」「リズム」「休息」「自由遊び」「音楽」「お話」「絵画」「製作」「自然観察」「ごっこ遊び・劇遊び・人形芝居」「健康保育」「年中行事」）の一つとして示された。現在も子どもの「健康」は、保育内容の5領域（「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」）の一つであり、「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017）には、子どもの「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う」（p.14）ことが明記されている。つまり、健康は子どもの保育において基本となる重要な領域であるといえる。また「保育所保育指針」（厚生労働省、2017）第3章「健康及び安全」「子どもの健康支援」には、「看護師等が配置されている場合には、その専門性を生かした対応を図ること」（p.32）が明記されている。このため保育者には、看護師等と連携して子どもの健康状態をよく把握し、その予防法を理解し、健康支援をすることが求められている。

健康支援に関して、岩崎（1995）はフリードナー（Theodore Flidner）牧師による保育者養成が幼児教育の祖フレーベル（Friedrich Fröbel）

の養成よりも「小児病への理解とその予防法と看護法を知ることに長けていた」（p.133）ことを明らかにしている。子どもに特有な病気の理解や予防に長けているということは、フリードナー牧師による保育者養成が子どもの健康を深く学ぶ機会があったということでもある。健康問題が注視されているコロナ禍の今、フリードナー牧師による保育者養成の歴史的意義から学び、幼児教育の未来を展望することが喫緊の課題であるといえる。

幼稚園発祥の地ドイツ（連邦）における産業革命は、ヨーロッパの中では立ち遅れたが、19世紀に急速に発展していった（柿原、1971）。産業革命に伴う人口の都市集中、労働環境の悪化、これが引き起こす働く母親の増加により、保育が必要な子どもたちが増加した。保育が必要な子どもたちを救うことを目的として、母親に代わって子どもを保育し、幼児教育を行う先駆的な施設が存在した。その一施設が1836年設立のKaiserswerth学園<sup>1)</sup>であり、学園の根底には創始者フリードナー牧師の社会活動のアイデアが溢れていた。当時のライン河畔は、産業革命によって発展した労働者の町であり、フリードナー牧師は、病気で困っている子どもたちや高齢者、病人のために布教活動の一環としてKaiserswerth学園を運営した。産業革命による労働者の町でフリードナー牧師が目指したこ

<sup>1)</sup> 京都文教大学    <sup>2)</sup> 島根県立大学

とは、奉仕を求めている地域にディーコネス (Diakonisse; キリスト教プロテスタント教会の女性奉仕者) を派遣し、社会に貢献することであった。Kaiserswerth 学園内には、ディーコネス施設の他に、幼児学校 (保育所)、保育者養成所、乳児院、看護師養成所等があり、フリードナー牧師は当時の社会に緊急に必要とされたものに着手した (倉鋪, 1969)。

Kaiserswerth 学園は、クリミヤ戦争で貧困・疫病・因襲的社会の中で戦い有名になったナイチンゲール (Florence Nightingale) が、Kaiserswerth 年報に魅せられ、1850 年にエジプト・ギリシャ旅行の帰途に Kaiserswerth 学園を訪問して2週間滞在をし、1851年には3か月間滞在して教育を受け、病院の仕事を経験し、学園の短期入学生となったことで有名になった (Small, 2003)。イギリスに帰国後、ナイチンゲールは1851年に Kaiserswerth 学園の詳しい見聞録を著した。この見聞録によると、Kaiserswerth 学園内の幼児学校には約40名の子どもたちと保育者養成所での訓練を受けたほぼ同数の若い女性がいたという (Nightingale, 1851)。しかしながら、当時の保育者養成では、具体的にどのような養成が行われ、どのような専門性を持った保育者の育成に力を入れていたのか等の情報は極めて少ない。そこで本研究では、まず、その第一着手として Kaiserswerth 学園の歴史的意義について先行研究を概観し、具体的に考察する。

以上を踏まえ、本研究では1836年に設立されたドイツの保育者養成を含む Kaiserswerth 学園に焦点を当て、その歴史的意義について先行研究を整理する。また、現地調査で得られた知見から、本学園の具体的な取り組みを通して、幼児教育の萌芽期における子どもの健康について検討する。

## Ⅱ. ドイツにおける Kaiserswerth 学園の歴史的意義と保育者養成

本研究では、ドイツにおける Kaiserswerth 学園の歴史的意義の先行研究を概観するために、“Kaiserswerth” “Fliedner” 「ドイツ & 保育者養成」という3つのキーワードを用いた。具体的な手法として、国立国会図書館のNDL-OPACを使用して検索した。調査期間は、2022年2月1日～2月20日であった。その結果、“Kaiserswerth” 8件、“Fliedner” 9件、「ドイツ & 保育者養成」8件の先行研究を検索することができた。以下、ドイツにおける Kaiserswerth 学園の歴史的意義に着目し、Kaiserswerth 学園の幼児教育の歴史的意義、及びフリードナー牧師による保育者養成に分けて整理した。

また、2019年9月に現地調査を実施した。現地の面接協力者である Dr. Norbert Friedrich (Kaiserswerth 学園図書館館長) には、提供された資料・写真撮影の承認を得た上で調査を実施した。なお、調査実施に関わる配慮等は、保育学研究倫理ガイドブック (2010) の倫理基準に準じた。

### 1. Kaiserswerth 学園における看護の歴史的起源

Kaiserswerth 学園において看護に焦点を当てた研究は、前述の“Kaiserswerth” 8件中8件、“Fliedner” の先行研究9件中7件であった。例えば、山本 (1997) はナイチンゲールの看護技術論の形成過程を明らかにし、徳永 (2011) はナイチンゲールの看護哲学と近代看護の形成について明らかにしている。これらのことから、フリードナー牧師による Kaiserswerth 学園の歴史的意義は、『新約聖書』「ローマの信徒への手紙」16章第1節 (16-1) のディーコネス (執事) という言葉を援用し、看護師や保育者等をディーコネスとして養成し組織化して、地域社

会に貢献していたことが明らかになった。具体的に、Kaiserswerth に関する研究では、初めての看護実践の見学報告書『カイゼルスウェルト学園によせて』(Nightingale, 1851) があり、ナイチンゲールの看護教育の歴史的起源にも関わる(徳永, 2011)。ナイチンゲールは、フリードナー牧師の看護師養成所で看護を学び、イギリスに帰国後に看護と宗教を切り離し、看護師の専門性を発展させ(倉舗, 1969)、看護の近代化の発展に寄与した。他方、幼児教育学においては、ナイチンゲールに値する Kaiserswerth 学園関連の保育者や研究者は我が国にはあまり見当たらず、ここに Kaiserswerth 学園が幼児教育学においてあまり認知されず、先行研究が散見されない要因だと推測される。

## 2. フリードナー牧師による保育者養成

幼稚園の起源は 1840 年創設フレーベルによる幼稚園(kindergarten)であることは周知の通りである。それ以前に設立された Kaiserswerth 学園の幼児学校や保育者養成所は、貧しい地域で暮らす人々からのニーズに合致し発展していった。この発展の様子を、歴史学者であり、ディーコネスであるスティッカー(Anna Sticker)は、Kaiserswerth 学園の年報からテーマごとにまとめて多くの著書を残し、後世の人と共有し役立てようとした。Sticker(1960)による記録等を通して、幼児学校と保育者養成について検討する。

まず、フリードナー牧師の生涯について述べる。フリードナー牧師は、牧師の息子として 1800 年に誕生し、14 歳で父が死亡したため、奨学金を受けながら大学で神学を学んだ。大学卒業後の 22 歳の時に、Kaiserswerth のプロテスタント教会に牧師として赴任し、2 回にわたりイギリスへの募金活動を行い、その際にイギリスの幼児学校を見学した。その後、フリードナー

牧師自らも幼児学校を設立した(Zimmerling, 1996)。

次に、フリードナー牧師による保育者養成について述べる。Allgemeine Schulzeitung(一般学校新聞)(1843)の報告によると、Kaiserswerth 学園の保育者養成所の入学要件は、読み書き算数(3R's)の初等教育を終え、体が健康で手先が器用、明朗で歌唱力があることであった。1841~1842 年入学 47 名の保育者志望学生は、ディーコネスの家で食事を共にし、夕方の聖書研究会に参加する以外の日中は幼児学校で学んだ。この養成期間は 3 か月から 4 か月間であった。また、Sticher(1989)の報告によると、保育者養成所の教育者からは、教授方法や子どもの歌や遊びの指導があり、そこで実施されていた教育の特徴は、知育教育、宗教教育、道徳教育、戸外での遊びであった。特に、遊び場(後述の図 3)は、回転式のブランコや木々、花等で環境が構成されていた。この環境構成は英国のワイルダースピン(Samuel Wilderspin, 1792-1866)の幼児学校を手本にし、子どもを育むための厳格な宗教的教育を含んでいた(Erning, 2017)。つまりフリードナー牧師は、保育者養成においても宗教的教育に力点を置き、幼児教育の理論と実践に関わる教育内容を設定していたことになるだろう。フリードナー牧師の長期目標には、子どもたちへの宗教的教育を通して、子どもたちの家庭にも影響を与えることであった。その結果、フリードナー牧師のプロテスタント教会に家族が集まり、家族のプロテスタントへの改宗に効果があった(Erning, 2017)。

豊田(2014)は、フリードナー牧師の保育者養成について、幼児学校の主軸が宗教的教授と学校の時間割的訓練にあり、奉仕活動を自主的に実践できる女性の育成であったと指摘している。当時の多くの地域は奉仕活動を求め、フリー

ドナー牧師の幼児学校は 19 世紀から 20 世紀に入るまで子どもの命を救って、子どもが健康になる居場所であった。

表 1 にはフリードナー牧師による幼児学校の時間割を示した。本時間割から分かることは、幼児学校が聖書物語や道德上のお話、お祈り、唱歌、戸外での遊びに多くの時間を当てているということである。特に注視すべきは、戸外での遊びが午前 8:00-9:00、10:00-10:45、11:15-11:45、午後 1:00-2:00、2:45-3:30、4:00-4:30 の計 4 時間と長く、子どもは生活の多くの時間を戸外での遊びに当てていたことになる。例えば日照時間の短いドイツでは、天気の良い日は戸外で新鮮な空気を吸いながら日光浴をし、雨が降ると裏の山路を散歩する（倉鋪，1969）。この当時から、子どもの心身の発達を促すためには、戸外にある自然との出会いや体を動かし、心身の豊かな育みを大切に考え、幼児学校の時間割に位置付けることにしたのかもしれない。事実、現在の幼児教育でも、子どもが自然と関わりを深めることができるような教育的配慮がなされている。

図 1～図 6 には、Kaiserswerth 学園の様子を示した。図 1 は Kaiserswerth 学園全体図であり、教会のある病院、幼児学校、乳児院、フリードナー牧師の家、刑務所出所後の更生保護施設、働く女性の姿、図 2 は幼児学校と園庭の様子が描かれている。また、図 3 と図 4 には子どもたちが長い時間を過ごす戸外での遊びや散歩の様子、図 5 と図 6 には Kaiserswerth 学園の室内で生活する子どもの様子が描かれている。Kaiserswerth 学園には子どもたちが健康に生きるために必要である水浴小屋や製粉棟の風車があった。例えば、Kaiserswerth 学園の子どもたちは、卵とパンを食べ、約半数の子どもたちが毎日入浴していたという（Sticker, 1960）。つまり、Kaiserswerth 学園の子どもたちは、毎日栄養のある食事を食べて入浴することによって清潔が保たれ、皮膚トラブルが無くなり、流行していた感染症を予防していたのであろう。当時の Kaiserswerth 学園の子どもたちは、入浴による清潔保持や食育によって感染症等を防ぎ、いかに健康に良かったということが推測される。なお、現在のドイツにおいて、ドイツ人

表 1. フリードナー牧師による幼児学校の時間割（Fliedner, 1842；岩崎 / 訳, 1999）

| 時 間         | 時 間 割                      |
|-------------|----------------------------|
| [午前]        |                            |
| 8:00- 9:00  | 戸外での遊び                     |
| 9:00- 9:30  | 唱歌、お祈り、聖書物語                |
| 9:30-10:00  | 読み方または直観練習、身体の兵式運動、書き方及び図画 |
| 10:00-10:45 | 戸外での遊びとおやつ                 |
| 10:45-11:15 | 直観練習と数え方                   |
| 11:15-11:45 | 戸外での遊び                     |
| 11:45-12:00 | 読み方、直観練習、お祈り及び唱歌           |
| [午後]        |                            |
| 1:00- 2:00  | 戸外での遊び                     |
| 2:00- 2:30  | 唱歌、お祈り、歌詞及び格言の暗唱           |
| 2:30- 2:45  | 書き方と図画                     |
| 2:45- 3:30  | 戸外での遊びとおやつ                 |
| 3:30- 4:00  | 編み物と読み方                    |
| 4:00- 4:30  | 戸外での遊び                     |
| 4:30- 5:00  | 道德上のお話、話し方練習、唱歌及びお祈り       |





図 1. Kaiserswerth 学園全体



図 2. 幼児学校と園庭の様子



図 3. 戸外での遊びの様子



図 4. 戸外での散歩の様子



図 5. 室内での生活の様子①



図 6. 室内での生活の様子②

(ライプツィヒ新聞、1846)

注) Sonderland (1850) Flidner Cultural Foundation Kaiserswerth より引用

図 2 のみ <https://www.christianity.com/church/church-history/timeline/>

1801-1900/theodore-flidner-opened-1st-deaconess-center- より引用 11630440.html

はバスタブへの入浴回数が週に一度程度と少ないが、入浴以外の日も濡れた厚手の布 (Schwammtuch) で体を拭くという。硬水という水質や乾燥した気候のドイツにおいて、

Kaiserswerth 学園の子どもたちが頻繁に入浴していたことは、画期的である。

### Ⅲ. 方法

#### 1. 調査対象及び時期

Kaiserswerth 学園の歴史的意義と子どもの生活内容を明らかにするため、1844 年～1846 年の Kaiserswerth 学園年報に記載された Sticker (1960) 報告の子どもに関わる文章を、ドイツでディーコネスの看護師のミッションに所属すると共に看護の経験がある第 2 筆者がドイツ語から日本語に訳し、第 1 筆者・統計の専門家・保育者の 3 名で確認しながら、テキストマイニングソフトである KH Coder (Ver.3) (樋口, 2014) を用いて量的分析を実施した。KH Coder は、量的分析法の一つであり、文章型データを統計的に分析し、どのような言葉が多く出現していたのかを頻度表から可視化する事が可能である。時期は 2021 年 7 月 1 日～8 月 31 日であった。また、文献研究で用いた Sticker (1960) 報告は、一般に公表された書籍であり、以下の通りである。

・Sticker, Anna. 1960 *Die Entstehung der neuzeitlichen Krankenpflege*. Kohlhammer. 32, 204-205, 216-217, 239-243, 326-329.

### Ⅳ. 結果と考察

#### 1. KH Coder による会話内容の量的検討

まず、子どもに関わる文章を分かち書きし、5,265 語を抽出した。抽出語の中から 1,939 語が分析に用いられた。表 2 には、話し合いにおける頻出語上位 50 語とその出現回数を示した。出現回数が多い順から 10 語挙げると、「子ども」「看護」「病院」「多く」「家」「シスター (Kaiserswerth 学園に入所し、看護教育を受けた未誓願の看護師)」「ディーコネス」「患者」「施設」「その他」であった。

次に、Kaiserswerth 学園の子どもに関わる語の類型化を試みるために、出現回数 8 以上を目安に頻出語を用いての Ward 法による階層的クラスタ分析を行った。西川 (2006) によれば、クラスタ分析は、その類似性を数量化し、個体または変数の親近さを明らかにしようとする探索的な解析方法である。また Ward 法は、クラスタ同士が併合する際に生じる情報量の損失が最小となるように進める方法である。図 7 には、頻出語上位 8 語と出現回数の結び付きをデンドログラム (樹形図) で示した。結果、明確な 3 つのクラスタに分離されており、3 クラスタが最も解釈可能と認められた。

表 2. 子どもに関わる頻出語上位 30 語

| 抽出語    | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 | 抽出語 | 出現回数 |
|--------|------|-----|------|-----|------|
| 子ども    | 42   | すべて | 11   | 女性  | 8    |
| 看護     | 39   | 来る  | 11   | 洗う  | 8    |
| 病院     | 30   | 時間  | 10   | 年   | 8    |
| 多く     | 19   | 新しい | 10   | 部屋  | 8    |
| 家      | 17   | 医師  | 9    | 回復  | 7    |
| シスター   | 16   | 教区  | 9    | 再び  | 7    |
| ディーコネス | 16   | 歳   | 9    | 食事  | 7    |
| 患者     | 13   | 必要  | 9    | 母   | 7    |
| 施設     | 13   | ドイツ | 8    | 病棟  | 7    |
| その他    | 12   | 月   | 8    | 病気  | 7    |

第1クラスタは、7項目で構成されており、出現回数が多い順から抽出すると、「子ども」「その他」「すべて」「来る」「時間」「医師」「洗う」であった。例えば、Kaiserswerth 学園年報には、「子ども」が「来る」とすぐに「子ども」は衣服を脱ぎ、体を「洗」ってもらう。「子ども」はかなり汚れていて、ダニの寄生による皮膚感染症を患っていたからだ。…（中略）…「子ども」は清潔に「洗」われる。また、「子ども」は体を「洗」われ清潔にされる。子どもの頭の

瘡蓋が柔らかくなった時、頭には1ターラー硬貨の大きさの穴が開いていた」。この子どもの健康を支える「医師」の姿が認められた。当時ドイツの貧困や混沌による疾病発生が多いことから、「医師」による子ども一人一人の育ちや健康状態への保健的な対応と、看護師や保育者による小児病への理解とその予防法と看護法を学ぶことが必要であると推察される。とりわけ Kaiserswerth 学園の幼児教育は、子どもの体を清潔に保つ入浴や手洗い、戸外での遊びを重視

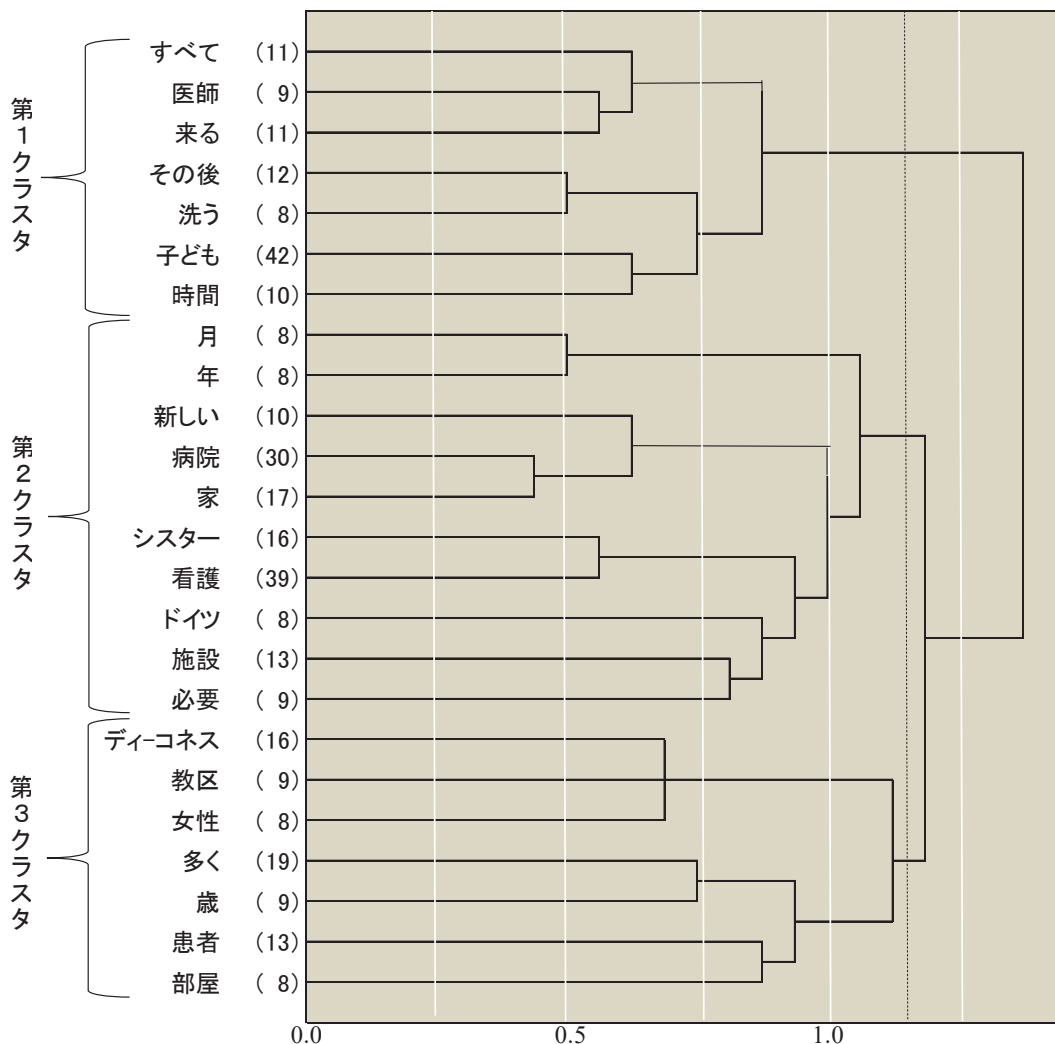


図7. 子どもに関わる結び付きの樹形図

注) 括弧内の数字は出現回数を表す。



していた。この保健的な対応によって、子どもの健康的な生活を作り出したのであろう。第1クラスは、洗うことによる子どもの健康的な生活を作り出すような配慮が認められたため、「子どもの清潔」とした。

第2クラスは、10項目で構成されており、出現回数が多い順から7語抽出すると、「看護」「病院」「家」「シスター」「施設」「新しい」「必要」であった。主に2つの文脈で示されており、一つは年報としての役割を示す「年」「月」が認められ、もう一つは Kaiserswerth 学園の（治療と保育が一体となった）療育「施設」設置が認められた。例えば、「フリードナー牧師は Kaiserswerth の最も大きく最も美しい建物を購入し、この「施設」は3階建ての建物で、建物内には20部屋と広場や庭のあり、「病院」を併設していた」（図1）。第2クラスは、療育が必要な子どもへ施設設置と生活環境が示されていたため、「子どもの療育施設」とした。

第3クラスは、7項目で構成されており、出現回数が多い順から7語抽出すると、「多く」「ディーコネス」「患者」「教区」「歳」「女性」「部屋」であった。例えば、Kaiserswerth 学園年報には、「「教区」「ディーコネス」は「多く」の飢えている人や放任された人々を預かってきたが、「多く」の子どもは太って、元気になった。…（中略）…子ども（3歳児）は栄養がある食事と適切な看護によって急速に回復した」。第3クラスは、Kaiserswerth 学園が子どもに栄養のある食事を提供して子どもの健康な体を育み、健康的な食生活が送れるような配慮がなされていたため、「子どもの食育」とした。

第1クラスの「子どもの清潔」に関連して、表3には Kaiserswerth 学園内の病院における患者の疾患名を示している。Sticker（1960）は Kaiserswerth 学園年報に疥癬患者数が多いことを指摘している。1846～1847年の疥癬患者数

は210名で全体の疾患の約38%占めていることが分かる。210人の疥癬患者に24人の吹き出物や苔癬、31人の潰瘍・膿瘍を患っている人を加えると265人（全体の約48%）となる。病気の本当の原因は世間一般の衛生観念の低さにあり、衛生観念の低さが清潔に保つことを疎かにしている。とりわけ、家庭において保育を必要とする子どもに対して、Kaiserswerth 学園の保育者は清潔な環境と栄養のある食事を提供し、戸外での遊びを充実させ、子どもを全身全霊で療育し、子どもを大人の小型としてではなく、子どもを一人の人間として見ていたと考えられる。

結果として、Kaiserswerth 学園年報より子どもに関する分類は、3クラスが適当と確認できた。Kaiserswerth 学園の子どもに対する歴史的意義は、「子どもの清潔」「子どもの療育施設」「子どもの食育」に縮約され、この意義は「子どもに対する健康」への配慮であったことが示唆された。本結果は、岩崎（1995）の「フリードナー牧師による保育者養成が小児病への理解とその予防法と看護法を知ることによって長けていた」（p.133）とした前述の報告を支持するものである。Kaiserswerth 学園年報を対象とした本調査でも同様の結果が得られたことは、Kaiserswerth 学園の保育内容と健康の関連が深いことを裏付けるものである。

他方、フレーベル著書『人間の教育』（フレーベル、1826）によると、世界初設立のフレーベルの幼稚園では、「教育の目的は、職分に忠実な、純粋な、無傷の、したがって神聖な生命を表現することである」（p.13）、「人間の全体的な形成」（p.44, p.57）等と示されている。子どもは一人一人違った才能を持ち得ていて、その能力は多くの可能性を秘めている。とりわけ幼児期には、達成すべき課題があり、その課題に忠実でなければならない。フレーベルは子どもには課題達



表 3. Kaiserswerth 学園内病院における患者の疾患名

| 疾患名                               | 1846.1.1 | 1846.1.1<br>以降の数 | 退院  |     | 死亡 | 1847.1.1 | 合計  |
|-----------------------------------|----------|------------------|-----|-----|----|----------|-----|
|                                   | 現在数      |                  | 治癒  | 非治癒 |    | 現在数      |     |
| A 内科的疾患                           |          |                  |     |     |    |          |     |
| カタル性、神経性、<br>胃液性、マラリア熱、<br>リュウマチ熱 | 5        | 40               | 43  | —   | —  | 2        | 45  |
| 天然痘、麻疹、丹毒                         | —        | 8                | 8   | —   | —  | —        | 8   |
| 炎症                                | 3        | 9                | 10  | —   | 2  | —        | 12  |
| 痛風とリュウマチ                          | 3        | 17               | 13  | 1   | 1  | 5        | 20  |
| 腺腫、クル病                            | 13       | 35               | 28  | 1   | 2  | 17       | 48  |
| 肺結核（消耗性疾患）                        | 2        | 11               | —   | 3   | 8  | 2        | 13  |
| 骨損傷                               | 13       | 23               | 20  | 3   | 2  | 11       | 36  |
| 脊髄一、腰の疾患                          | —        | 8                | —   | 5   | —  | 3        | 8   |
| 萎黄病、黄疸                            | —        | 2                | 2   | —   | —  | —        | 2   |
| 水腫                                | 1        | 6                | 1   | 1   | 4  | 1        | 7   |
| 癌                                 | 1        | 9                | 1   | 4   | 1  | 4        | 10  |
| 梅毒                                | 2        | 11               | 11  | —   | —  | 2        | 13  |
| 神経衰弱症、麻痺                          | 5        | 5                | 4   | 4   | —  | 2        | 10  |
| 胃痙攣                               | —        | 3                | 2   | —   | —  | 1        | 3   |
| てんかん                              | 2        | 4                | 3   | 2   | —  | 1        | 6   |
| 精神病患者                             | —        | 2                | 1   | 1   | —  | —        | 2   |
| 老衰                                | 1        | —                | —   | —   | —  | 1        | 1   |
| B 外科的疾患                           |          |                  |     |     |    |          |     |
| 眼病                                | 6        | 15               | 14  | 2   | —  | 5        | 21  |
| 吹き出物、苔癬                           | 6        | 18               | 15  | 4   | —  | 5        | 24  |
| 疥癬                                | 2        | 208              | 205 | —   | —  | 5        | 210 |
| 象皮病                               | —        | 1                | —   | 1   | —  | —        | 1   |
| 潰瘍、膿瘍                             | 4        | 27               | 21  | 1   | 1  | 8        | 31  |
| 火（熱）傷                             | —        | 1                | 1   | —   | —  | —        | 1   |
| 背骨の湾曲、内反足<br>口唇裂                  | 2        | 7                | 4   | —   | —  | 5        | 9   |
| 骨折、陰嚢水腫、あざ                        | 3        | 9                | 11  | —   | —  | 1        | 12  |
| 関節滑液包、尿ろう                         | —        | 2                | 2   | —   | —  | —        | 2   |
| 合計                                | 74       | 481              | 420 | 33  | 21 | 81       | 555 |

注) Sticker (1960)、242-243 を第 2 筆者が翻訳して引用。

成に向かっての内なる努力が必要であり、保育者には子どもが自ら健全に育つことができるように場面と時間と助言を与えていく事が求められていることを示している。つまり、フレーベルによる幼児教育の目的は、「表現」を含む現

在の保育内容で重視される「遊び」を通した子どもの自発的活動であるといえる。このことは、当時のドイツ社会において、フレーベルの幼稚園が豊かな上層市民の子どもを対象にしたのではないかと考えられる。なぜならば、フレーベ

ルの理論や遊びは、Hardach-Pinke & Hardach (1978) による「19 世紀の上層市民の子どもたち」を対象とする箇所のみが登場しているからである。

#### IV. まとめと今後の課題

本研究ではドイツにおける Kaiserswerth 学園の歴史的意義と子どもの生活内容をより深く理解するために、Sticker (1960) 文献の KH Coder による量的データ、及び現地調査による質的データの両方を統合した混合研究法を試みた。その結果、幼児教育の萌芽期において、次のような点が明らかになった。

第 1 に、Kaiserswerth 学園の幼児学校では、4 時間を戸外での遊びに当てて、子どもの心身の発達を促すため、戸外にある自然との出会いや体を動かし、心身の豊かな育みを大切に考え、幼児学校の時間割に位置付けることにしたことが示唆された。幼児教育とは、子どもが生活していく過程で、大人が教え込むのではなく、適切な発達環境を与えていくということであり、生活全てが幼児教育の場である。Kaiserswerth 学園の幼児学校では、子どもの成長に必要な環境となる戸外での遊びによる日光浴を子どもに提供しており、「子どもの健康」への配慮には優れていたといえる。

第 2 に、Kaiserswerth 学園の子どもに関わる援助では、「子どもの清潔」「子どもの療育施設」「子どもの食育」が示された。当時の子どもは、家庭での衛生観念の低さによりかなり汚れていて、ダニの寄生による皮膚感染症を患っていた。Kaiserswerth 学園にきた子どもは清潔に洗われ、栄養のある食事が提供されていた。フリードナー牧師による保育者養成は、「小児病への理解とその予防法と看護法を知ることによって長けていた」ことが示唆された。

第 3 に、1846～1847 年のドイツでは、吹き出物や苔癬等を含む疥癬患者数が疾患の 48% 占めていることが分かった。これらの病気の本当の原因は、労働者階級の生活の一端である衛生状態の低さによる不潔な生活と低栄養にあることが推測された。

最後に、今後の課題を挙げる。第 1 に、Kaiserswerth 学園の保育者養成に関する資料数の少なさである。今後現地調査を再度実施し、Kaiserswerth 学園の保育者養成で教育者が何をどのように教え、学生が何を獲得したのか等、保育者養成カリキュラムの具体的な内容について再考する事である。

第 2 に、ドイツ語の原著論文のままで KH Coder による分析を試みることである。本研究の分析では、ドイツ語から日本語に訳した後に KH Coder (Ver.3) を用いて量的分析を実施した。しかし、次期バージョンの新機能 (Ver.4) により正確にドイツ語を認識できるようになっており、ドイツ語の原著論文のままで分析を試みることが喫緊の課題である。

第 3 に、Kaiserswerth 学園の教育の神髄を明らかにすることである。周知のようにフレーベル (1826) は、「教育、教授および教訓は、根源的に、またその第一の根本特徴において、どうしても受容的・追従的であるべきで、けっして命令的・規定的・干渉的であってはならない」(p.18) という教育の神髄を残している。しかしながら、Kaiserswerth 学園ではどのような教育の神髄があったのか見出していないため、今後の課題としたい。

#### 註

- 1) 「学園」の日本語表記は、1975 年出版『ナイチンゲール著作集 (1) カイゼルスウェルト学園によせて』における湯植ます他 / 訳に従い判断した。

## 引用文献

- Allgemeine Schulzeitung. 1843 Darmstadt Spalte, 1445.  
[https://scripta.bbf.dipf.de/viewer/image/026397595\\_0020/870/LOG\\_0805/](https://scripta.bbf.dipf.de/viewer/image/026397595_0020/870/LOG_0805/)
- Erning, Günter. 2017 *Geschichte der öffentlichen Kleinkindererziehung im 19. Jahrhundert*: FIS Universität Bamberg, 11-25
- Fliedner, Theodor. 1842 *Lieder-Buch für Kleinkinder-Schulen und die untern Klassen der Elementar-Schulen*, mit Melodien, Gebeten, Bibelsprüchen, 243.
- Fröbel, Friedrich. 1826 *Die Menschenerziehung, die Erziehungs-, Unterrichts-, und Lehrkunst, angestrebt in der allgemeinen deutschen Erziehungsanstalt zu Keilhau* (荒井武 / 訳 1964 人間の教育 (上) (下) 岩波書店)
- Hardach-Pinke, Irene & Hardach, Gerd. 1978 *Deutsche Kindheiten autobiographische Zeugnisse 1700-1900*. Athenäum Verlag, 436-439.
- 樋口耕一 2014 社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して— ナカニシヤ出版.
- 岩崎次男 1995 フレーベルの幼稚園の設立と幼稚園教育者の教育 幼児保育制度の発展と保育者養成 玉川大学出版部.
- 岩崎次郎 1999 フレーベル教育学の研究 玉川大学出版部.
- 柿原知可子 1971 ドイツにおける幼児教育機関の成立過程—フレーベルの幼稚園創設に到るまでを中心—to 日本の教育史学 14, 64-79.
- 厚生労働省 2017 保育所保育指針 フレーベル館.
- 倉鋪桂子 1969 偉大なる事業ディーコネス 看護学雑誌 33, 9. 94-95.
- 文部科学省 2017 幼稚園教育要領 フレーベル館.
- 文部省 1948 保育要領—幼児教育の手びき— 師範学校教科書.
- Nightingale, Florence. 1851 *The institution of Kaiserswerth on the Rhine for the practical training of Deaconesses*, London 1-32.
- 日本保育学会倫理綱領ガイドブック編集委員会 (編) 2010 保育学研究倫理ガイドブック フレーベル館.
- 西川浩昭 2006 クラスター分析 (柳井晴夫・緒方裕光 / 編著: SPSS による統計データ解析—医学・看護学・生物学・心理学の例題による統計学入門—) 現代数学社.
- Norbert Friedrich. 2010. *Wie Theodor Fliedner Frauen einen Beruf gab*. Wichern. 1-120.
- Sticker, Anna. 1960 *Die Entstehung der neuzeitlichen Krankenpflege*. Kohlhammer, 89, 190, 239-243, 326-329.
- Sticker, Anna. 1989 *Theodor und Friedrike Fliedner*. Wuppertal, Brockhaus.
- 徳永哲 2011 1840-50 年代におけるナイチンゲールの看護哲学と近代看護の形成 日本赤十字九州国際看護大学紀要 10. 61-72.
- 豊田和子 2014 19 世紀前半期のドイツにおける保育施設とその職業の生成に関する研究—幼児保育職の専門性論議を中心に—to 職業とキャリアの教育学 20. 21-39.
- 山本利江 1997 ナイチンゲールにおける看護技術論の形成過程に関する研究 千葉看護学会会誌 3, 2. 84-90.
- Zimmerling, Peter. 1996 *Starke fromme Frauen—Begegnungen mit Erdmuth von Zinzendorf, Juliane von Krüdener, Anna Schlatter, Friederike Fliedner, Dora Rappard-Gobat, Eva von Tiele-Winckler, Ruth von Kleist-Retzow*. Brunnen -. Gießen/Basel, 78.

## 謝辞

本研究にご協力くださいました Dr. Norbert Friedrich に心より感謝申し上げます。

## 付記

本研究は、2021 年度京都文教大学の個人研究費、及びドイツ調査は島根県立大学の個人研究費の助成を受けたものである。なお本稿は、日本保育学会第 75 回大会にて発表したものに加筆修正している。

*Abstract*

## A study of the historic significance of the Kaiserswerth Deaconess Institute and it's contributions to children's health

Hiroko OHMORI <sup>1)</sup> & Keiko KURASHIKI <sup>2)</sup>

The purpose of this study is to clarify the historic significance of the Kaiserswerth Deaconess Institute ("the Institute") in Germany and it's contributions to children's health. This study is based on the integration of both quantitative data by KH Coder analysis of documents and qualitative data obtained from field work. Analysis of the Institute's contributions to preschool education leads to the following conclusions. The Institute trained nurses and childcare providers and organized them. The Institute advocated moving children outdoors, typically to a preschool-garden, for four hours every day, where children could experience nature and play outdoors to promote their mental and physical development, and enrich their minds and bodies with carefully planned preschool schedules. The Institute promoted outdoor play in an environment necessary for the growth of each child, and this also promoted the health of each child. The Institute also promoted "child cleanliness," "child nursing facilities" and "child food education." Prior to the widespread adoption of the ideas and policies of the Institute, the children in Germany were very dirty and typically suffered from numerous skin infections, including tick parasites. In Germany, even as late as 1846-1847, scabies infections accounted for 48% of children's diseases. In summary, before the founding of the Institute, a major cause of illness for the working class and their children was their low personal hygiene. In addition, the Institute promoted clean and nutritious meals for children. Therefore, the Institute's founders, the Lutheran minister Theodor Fliedner and their Institute made major contributions to the understanding of children's diseases and the proper prophylaxis and nursing methods to deal with them.

Key word: the Kaiserswerth Deaconess Institute, the historic significance, children's health

---

<sup>1)</sup> Faculty of Child Education    <sup>2)</sup> The University of Shimane